

学校設定科目「課題研究Ⅱ」(2024年度までは旧「課題研究Ⅰ」) 年間指導計画・評価計画

科目名	課題研究Ⅰ	履修学年(単位数)	第2学年(3単位)・必修	
教科書	独自の教材テキスト			
副教材	特に指定しない			
目標	第Ⅰ期「課題研究基礎」で身に付けた科学的探究力を活用し、主体的・協働的な探究活動を実施するとともに、自ら探究テーマを設定し、粘り強く試行錯誤を繰り返しながら十分に時間をかけて研究を進め、新たな価値を創出する意識を培う。			
年間授業計画				
時期	単元	学習内容	時数	目標・内容の具体
前年度 2～4月	プレ 課題研究	課題研究テーマの設定 「課題研究基礎」振り返り	0	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身で探究したいテーマを設定する。 必要に応じて様々な教科等の教員の助言を受ける。
4～ 6月	研究準備期	研究ガイダンス 研究倫理を再度学ぶ ルーブリックの確認 外部講師の授業、 フィールドワーク	30	<ul style="list-style-type: none"> 研究倫理講習(Aprin)を受講し、研究倫理への意識を高める。 ルーブリックを確認し、担当教員と共有することで目標とする研究の道筋を明確にする。 外部講師の授業、フィールドワークを行う。 グループディスカッションにより課題発見に取り組む。 本校教員、大学教員(アドバイザリーボード含む)、大学院生・メンター等から助言を得る。
7～ 10月	研究基礎期	課題研究の遂行 中間発表会 海外研修の成果共有	30	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題から仮説を見出し、仮説に基づいた仮実験またはデータ収集の立案、実施、結果のまとめ、仮実験に関する考察、仮説の再検討と再設定を行う。 本実験または追加データ収集。 中間発表会において、大学教員・大学院生・卒業生等より助言を得る。下級生に研究姿勢を見せる。他の課題研究に触れ、議論する。 海外協定校生徒と、研究の内容について意見交換を行う。
11～ 2月	研究充実期	課題研究の遂行 学会等での研究成果の 発信	30	<ul style="list-style-type: none"> 本実験または追加データ収集の立案、実施、まとめ、論理構築、考察等。 必要に応じて管理機関やその他研究施設での実験や実習を行い、内容の充実、質の向上を目指す。 グループ、担当教員、メンター等との議論を通して、論証の妥当性を検証。
2～ 3月	研究発信期	学会等での研究成果の 発信 成果発表会等を通じた 下級生、中学生への成 果普及	27	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究に関するポスター等を作成し、学会や校内外の成果発表会で発信する。校内の発表会では、下級生に向けた課題研究に関する助言、中学生への成果普及も行う。 管理機関主催のSSH指定7女子高校等との課題研究発表会等に参加し、大学教員等から助言を得る。
評価 規準	共創性①	<ul style="list-style-type: none"> 【プロセス】自身の課題研究について責任を持って遂行する意志がある。 【プロセス】周囲の課題研究の取組みについて、興味関心を持っている。 【成果】成果物に対して責任を持ち、他者への助言や補助ができた。 		
	共創性②	<ul style="list-style-type: none"> 【プロセス】新たな発見や価値を創造し、粘り強く研究を継続しようとする。 【成果】多くの学びや成果を通して、新たな発見や価値を創造することができた。 		
	科学的探究力①②③	<ul style="list-style-type: none"> 【プロセス】研究テーマに対して多くの事柄を学び、学問的・社会的意義を見いだして、研究を主体的に進捗させている。 【成果】研究テーマに対して適切な先行研究を調査し、具体的な検証方法を示しながら仮説を立てることができた。 		
	科学的探究力④	<ul style="list-style-type: none"> 【プロセス】データ収集、分析、実験、観察、調査などの実施時期や方法について計画を立て、研究を主体的に進捗させている。 【成果】データや結果を適切な形に整理・分析し、論理的にまとめた。 		
	発信力	<ul style="list-style-type: none"> 【プロセス】自身の課題研究を、多くの人に理解してもらえるよう工夫して発信している。 【成果】論理的な文章等でわかりやすい発表や表現を行い、質疑応答に適切に対応した。 【成果】校内外での発表や論文賞に応募するなどして、意欲的に発信活動を行った。 		
評価 方法	研究を発信する際に作成したポスターや論文、研究への取組姿勢・意欲から評価する。			
備考	年間授業時数：117時間			